

## 15-j モデル, クリニック

自治医大病院担当者

松本清一・玉田太朗  
石塚法子

『思春期医学ならびに保健のカバーすべき領域の設定に関する研究』のモデル病院として“思春期外来、(仮称)のあり方”について病院長, 小児科, 精神科ならびに産婦人科の関係者による討議の結果, 現時点で以下のような計画を作った。

思春期の少年, 少女の問題を医学, 心理学, 家庭, 学校, 社会における行動など, 広く扱うには, 少なくとも産婦人科, 泌尿器科, 小児科, 精神科, 内科, 心身症専門家あるいは心理学者などの協力が必要であるが, 実際のタスクフォースとして, ソーシャル・ワーカー, 経験のある保健婦, 助産婦なども参加してもらう。

その窓口として“思春期相談室”を設け, 毎日少なくとも1人のケースワーカーあるいは保健婦, 助産婦を配置する。これらの人はベテランで, 出産・育児の経験のある30才台~40才台の既婚婦人が適当と思われる。

思春期相談室に来た者のうち, 医師の診療を必要と認めた場合には, ケースワーカーにより適当な科へ紹介され, 医師とケースワーカーとで follow する。直接各科を受診した患者の場合は, 一度思春期相談室にもどし, 協力して follow をする型をとる。

次に診療時間であるが, 学生が病院を受診しやすくするために, 思春期相談室は週2~3日, 夕方に診療時間を開設する。

診療体制は, 思春期外来の医療チームの組織を図のように作り, その医療チームによる会合を定期的に行き, 問題症例の検討ならびに思春期外来の改善に努める。医療チームのスタッフとしては, 前にも述べたが, ①医師として小児科, 産婦人科, 精神科, 泌尿器科, 心理科にそれぞれ特定の医師を決め窓口とする ②臨床心理学者(士) ③ソーシャルワーカー ④保健婦, 助産婦 ⑤栄養士等で構成する。

思春期相談室のケースワーカーによるスクリーニング用として予診的なアンケート用紙を作る。これには生活歴, 家庭環境, 学校における行動などを含む。各

科における思春期外来診療に際し, 統一カルテを作成する。その統一カルテは(表1)主に産婦人科, 小児科, 精神科領域で, 小児思春期における主な疾患にふれたものを作る。

最後に, 外部に対してであるが図2の様にその医療チームは思春期外来の存在ならびに内容を, 行政関係者, 教育関係者(小学校, 中学校, 高等学校), 福祉関係者, 報道機関にピーアールするとともに, 働きかける。将来思春期問題を専門とするケースワーカーの育成にも努めていく。

以上をまとめると,

1. 思春期相談室を作り, 医学的のみならず, 社会的, 心理的に follow してゆく。
2. 医学的診療の必要な場合は, 各科へ紹介する。
3. 診療時間は夕方とし, 週に2~3日とする。
4. 医療チームを構成し, 定期的に会合をもつ。
5. 地域との連絡を密接にするため, 行政, 教育, 福祉, 報道関係者に働きかけ, 地域全体として思春期の少年・少女を見守って行くシステムを作るのが, 理想であるが, モデルクリニックはこのシステムの調整役あるいはリーダー役も引きうけるため, 病院内の診察のみならず, 地域にでかけて行って思春期の少年・少女をとりまく環境の問題点を明らかにし, 他の職種の人々と協力して, それを解決して行くべきである。

図1. 思春期外来医療チーム構成

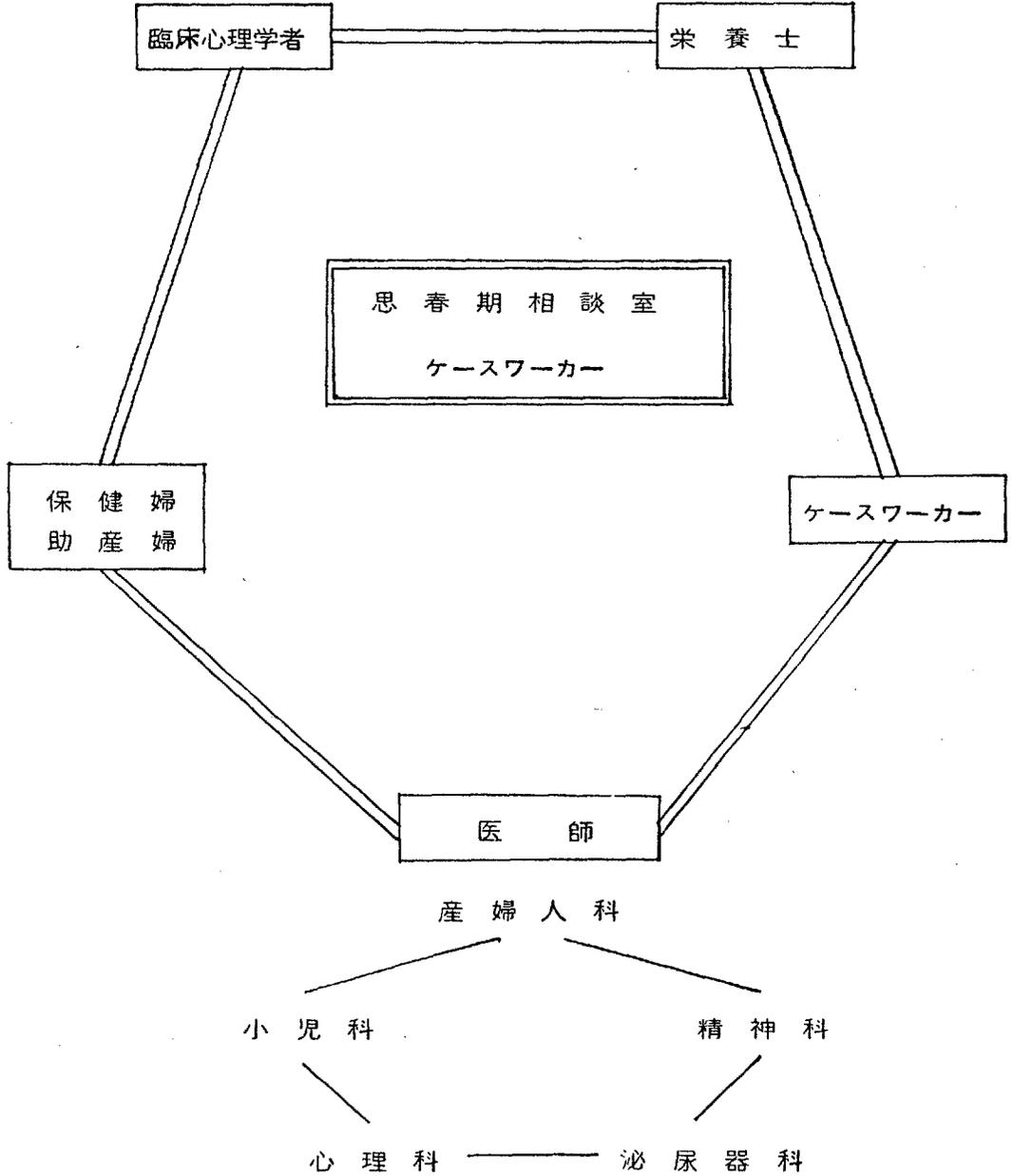
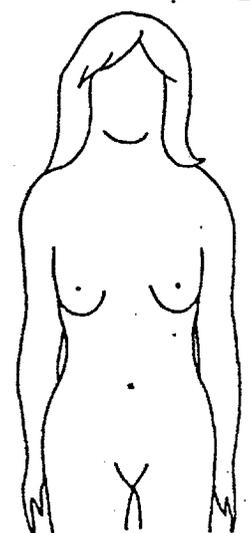


表1. 小児思春期外来病歴

小児思春期外来病歴	
	No. _____ 外来番号 _____ _____ さん 紹介者 _____
	記入者 _____
出生	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 学年 小・中・高 _____ 年 職業 ( _____ ) その他 ( _____ )
家 族 歴	父 ( _____ 歳) 健・否 ( _____ ) で死亡 同胞 ( _____ ) 人
	母 ( _____ 歳) 健・否 ( _____ ) で死亡 既往分娩 ( _____ 回) 異常妊娠 (自然・人工流産・中絶)
	異常分娩 (早・死産・奇形) 妊娠中のX線照射、発疹など ( _____ )
	家族の疾患 結核・癌・脳卒中・アレルギー疾患・遺伝性疾患・糖尿病・奇形・Lues・Gono・その他 ( _____ )
その他の家族の状況 ( _____ )	
出生歴	出生体重 ( _____ ) g 出生時状況 ( _____ ) 主たる保育者 ( _____ )
既往症	麻疹・風疹・水痘・百日咳・猩紅熱・流行性耳下腺炎・おたふく風邪・インフルエンザ・感冒・扁桃腺炎・下痢 アレルギー性疾患・薬物過敏・Lues・Gono・その他 ( _____ )
既 往 の 診 察	_____ 年 _____ 月 _____ 日      _____ 年 _____ 月 _____ 日      _____ 年 _____ 月 _____ 日      _____ 年 _____ 月 _____ 日
	_____ 病院 _____ 科      _____ 病院 _____ 科      _____ 病院 _____ 科      _____ 病院 _____ 科
	診断 _____      診断 _____      診断 _____      診断 _____
	治療 _____      治療 _____      治療 _____      治療 _____
月 経 歴	初経 _____ 年 _____ 月 ( _____ 歳) 初経より月経が正常になるまでの期間 約 _____ 年
	月経周期およそ ( _____ 日 ~ _____ 日) 持続 ( _____ 日) 量 (多い・ふつう・少い) 随伴症状 (下腹痛・腰痛・その他) 月経前症状 ( _____ )
	最近の月経 ( _____ / _____ ~ _____ 日間) 正常異常、前回 ( _____ / _____ ~ _____ 日間) 正常異常、前々回 ( _____ / _____ ~ _____ 日間) 正常異常
	基礎体温 なし・あり      その他付記事項 ( _____ )
職業	世帯職業 ( _____ ) 父の職業 ( _____ ) 母の職業 ( _____ )
環境	居住地 _____ 居住 _____ その他 ( _____ ) 住宅街・団地・商店街・工場地帯・農村・漁村・その他 ( _____ )、独立家屋・マンション・団地・アパート・借間
食生活	外食・偏食 ( _____ ) 食事量 ( _____ ) その他 ( _____ )
性経歴	自慰 なし・あり      性交渉 なし・あり { 並複 ( _____ ) }      現在性交渉 なし・あり { 別居 同様 }      妊娠の経験 なし・あり
主 訴	現病歴 _____
無月経 月経異常 出血 下帯 下疳 下腹痛 腰痛 奇形腫 乳房異常 尿糖尿毒 性病 その他	

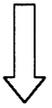
全身所見	身長 cm	体重 kg	肥満 カウプ指数	ふつう	やせ型
顔ぼう 行動	正 異 ( ) 正 異 ( )				
乳房	乳頭 正 異 ( ) 乳輪 正 異 ( ) 左右差 なし あり ( ) 乳汁分泌 ( )				
発毛	多毛 なし あり (V) 腋毛 なし あり				
その他					
	血圧	~	mmHg	タナー 乳房 陰毛	I II III IV V I II III IV V
婦人科局所所見					
外陰 腔 直腸診 または内診 腔鏡診 帯下					
所見図	治療方針				





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



『思春期医学ならびに保健のカバーすべき領域の設定に関する研究』のモデル病院として“思春期外来,(仮称)のありかについて”病院長,小児科,精神科ならびに産婦人科の関係者による討議の結果,現時点で以下のような計画を作った。

思春期の少年,少女の問題を医学,心理学,家庭,学校,社会における行動など,広く扱うには,少なくとも産婦人科,泌尿器科,小児科,精神科,内科,心身症専門家あるいは心理学者などの協力が必要であるが,実際のタスクフォースとして,ソーシャル・ワーカー,経験のある保健婦,助産婦なども参加してもらおう。

その窓口として“思春期相談室”を設け,毎日少なくとも1人のケースワーカーあるいは保健婦,助産婦を配置する。これらの人はベテランで,出産・育児の経験のある30才台~40才台の既婚婦人が適当と思われる。